

第Ⅱ部 参加※について

※参加とはICF（国際生活機能分類）用語で、社会的な出来事に関与したり、役割を果たすことをいいます。

※以下の項目について9月1日での状況についてお書き下さい。

Ⅱ－1. 家庭生活について（○印は一つ）

1. 家族と一緒に生活していないので、この項目にあてはまらない
2. 家族の一員としての役割を十分に果たしている
3. ある程度は家族の一員としての役割を果たしている
4. 一部分だけ家族の一員としての役割を果たしている
5. 家族の一員としての役割を果たすことはできない

Ⅱ－2. 経済について（○印は一つ）

1. もともと一家の財政に責任をもっていなかった
2. 一家の財政を全て担っている
3. ある程度は一家の財政を分担して支えている
4. 一部分だけ一家の財政に寄与している
5. 一家の財政に寄与することはできない

Ⅱ－3. 地域社会生活・市民活動について（○印は一つ）

1. 年齢が若いため本来このような活動に参加する立場にない
2. 十分に町内会、地域団体、地域活動などに参加している
3. ある程度は町内会、地域団体、地域活動などに参加している
4. ごく一部しか町内会、地域団体、地域活動などに参加していない
5. 全く町内会、地域団体、地域活動などに参加していない

Ⅱ－4. この第Ⅱ部（参加）にうかがった内容（社会参加）に類することで、他にも何か不自由・問題があればご記載下さい。

Ⅱ－5. 上の4つの質問（Ⅱ－1～Ⅱ－4）でうかがった内容全体についての、あなたの感じ方をうかがいます。（○印は一つ）

1. 非常に満足
2. 満足
3. どちらでもない
4. 不満足
5. 非常に不満足

第Ⅲ部 心身機能・身体構造について

※以下の項目について9月1日での状況についてお書き下さい。

Ⅲ-1. あなたは心や体の働きや、形について病気や障害や不自由なところがありますか？

(○印はあてはまるものすべて)

もしあれば起こった時期（出生以来、〇〇歳など）を記入してください。また病名がはっきりしていればその病名を記入してください。

1. 手足の動きに不自由はありますか？

1) ない

2) ある：起こった時期：

⇒病名：1. 脳卒中 2. パーキンソン病 3. 慢性関節リウマチ
4. 脊髄損傷 5. 脳性麻痺 6. その他（具体的に：

⇒不自由のある部位・場所：右足、左足、右手、左手、顔、頸、体幹(胴体)

2. 痛みがありますか？

1) ない

2) ある：起こった時期：

⇒痛みのある部位・場所：1. 肩 2. 手 3. 腰 4. 膝
5. その他（具体的に：

⇒病名（具体的に：

⇒痛みによって日常生活できなくなっている動作があればご記入下さい。

3. ものを見ることに不自由はありますか？

1) ない

2) ある：起こった時期：

⇒程度：1. 片目の視力低下 2. 両目の視力低下 3. 全盲
4. その他（具体的に：

⇒病名（具体的に：

4. 音や声を聞くことに不自由はありますか？

1) ない

2) ある：起こった時期：

⇒程度：1. 少し聞こえが悪い
2. かなり聞こえが悪い
3. 全く聞こえない

4. 耳は聞こえているようだが内容の理解が悪い

5. その他（具体的に：

5. 声を出して話すことに不自由はありますか？

1) ない

2) ある：起こった時期：

⇒程度：1. 声の出が少し悪い

2. 声の出がかなり悪い

3. 全く声が出ない

4. 声は出るが言葉としては音が歪んで聞き取りにくい

5. 話はできるが内容がおかしく通じない

6. その他（具体的に：

6. 心臓に悪いところがありますか？

1) ない

2) ある：起こった時期：

⇒病名：1. 高血圧 2. 不整脈 3. 狭心症 4. 心筋梗塞

5. その他（具体的に：

7. 肺に悪いところがありますか？

1) ない

2) ある：起こった時期：

⇒病名：1. 肺気腫 2. 気管支喘息 3. 肺結核

4. その他（具体的に：

8. 胃腸に悪いところがありますか？

1) ない

2) ある：起こった時期：

⇒病名：（具体的に：

9. 代謝の病気がありますか？

1) ない

2) ある：起こった時期：

⇒病名：1. 糖尿病 2. 痛風 3. その他（具体的に：

10. ホルモンのはたらきに悪いところがありますか？

1) ない

2) ある：起こった時期：

⇒病名：（具体的に：

11. 腎臓・膀胱に悪いところがありますか？

1) ない

2) ある：起こった時期：

⇒病名：1. 慢性腎炎 2. その他（具体的に：

12. 性に関して問題がありますか？

1) ない

2) ある：起こった時期：

⇒病名・症状名（具体的に：

13. 皮膚・毛・爪に関して問題がありますか？

1) ない

2) ある：起こった時期：

⇒病名・症状名：1. 褥瘡（とこずれ） 2. 湿疹など

3. その他（具体的に：

14. 意識状態に問題がありますか？

1) ない

2) ある：起こった時期：

⇒病名・症状名：1. 意識障害 2. てんかん

3. その他（具体的に：

15. 精神のはたらきに障害がありますか？

1) ない

2) ある：起こった時期：

⇒1. 知的障害 2. 精神障害 3. うつの傾向

4. その他（具体的に：

⇒病名（具体的に：

16. 切断・欠損がありますか？

1) ない

2) ある：場所・部位を記入してください

17. その他具合の悪いところがありますか？（具体的に記入してください）

Ⅲ－2. 上の質問（Ⅲ－1）でうかがった、あなたの心や体の働きや形の全体について、あなたの感じ方を伺います。（○印は一つ）

1. 非常に満足 2. 満足 3. どちらでもない 4. 不満足 5. 非常に不満足

第Ⅳ部 環境因子※について

※環境因子とはICF（国際生活機能分類）では物的な環境だけでなく、人的、社会的（制度・政策・サービス・社会意識）なものを含む広い意味のものです。

※以下の項目について9月1日での状況についてお書き下さい。

Ⅳ－1. 障害を補うための支援的な用具（杖、装具、義足、車椅子、シルバーカー、補聴器、音声出力コンピューター等）を使っていますか。その入手等に問題はありませんか。（○印は一つ）

1. 支援的な用具を一応使用しているが不具合がある
2. 全く得られない
3. もともと必要としていない
4. 十分に得られている
5. ある程度は得られている

⇒用具の種類（○印を使用しているもの全てに。△印を現在希望のもの全てに）：

1. 杖
2. 装具
3. 義足
4. 車椅子
5. シルバーカー
6. 白杖
7. 補聴器
8. 音声出力コンピューター
9. その他（具体的に：

⇒入手などの問題点（具体的に：

Ⅳ－2. 住宅環境に問題はありませんか（○印は一つ）

1. 住宅環境が問題になるような身体・精神の障害の状態ではない
2. 住宅が障害を考えてできている（改造を含む）ので、問題なく生活している
3. 障害を考えた住宅ではないが、家具の配置変え等を工夫し、問題なく生活している
4. 現在の住宅には問題があるが、何とかやっている
5. 現在の住宅は非常に住みにくい

⇒問題点・住みにくい点（具体的に：

Ⅳ－3. 公共の建物（市役所、郵便局、銀行、図書館、スーパーなど）のアクセス（利用しやすさ、障害のために利用が困難にならないこと）に問題はありませんか（○印は一つ）

1. もともとアクセス（利用しやすさ）が問題になるような障害をもっていない
2. ほとんどの公共の建物はアクセスがよい（利用しやすい）
3. 公共の建物の一部はアクセスが悪い（利用しにくい）
4. 公共の建物のかなり多くはアクセスが悪い（利用しにくい）
5. 利用したい公共の建物はほとんど全てアクセスが悪い（利用しにくい）

⇒問題点・利用しにくい点（具体的に：

Ⅳ－4. 日頃利用する道路に問題はありませんか（○印はあてはまるもの全て）

1. 特に問題はない
2. 歩道・車道の別がなく、危険である
3. 歩道の舗装が悪くて困る
4. 道が狭くて困る（1. 歩く時 2. 車椅子使用時 3. 車の使用時
5. その他（具体的に：

⇒問題点・利用しにくい点（具体的に：

IV-5. 公共交通機関（バス、電車。電車については駅も含む）に問題はありませんか
(○印は一つ)

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. もともとほとんど利用していない | 4. 利用上非常に問題がある |
| 2. 特に問題なく利用している | 5. 全く利用できない |
| 3. 利用上多少問題がある | |

⇒問題点・利用しにくい点（具体的に）：

IV-6. 社会的支援（介護、ホームヘルプサービスなど）に問題はありませんか（○印は一つ）

1. 社会的な支援をもともと必要としていない
2. 十分にうけられている
3. ある程度はうけられている
4. ごく一部しかうけられていない
5. 全くうけられていない

⇒問題点・利用しにくい点（具体的に）：

IV-7. サービス、制度、政策について

IV-7-1. 医療について必要なサービスをうけていますか（○印は一つ）

1. 医療のサービスをもともと必要としていない
2. 十分にうけられている
3. ある程度はうけられている
4. ごく一部しかうけられていない
5. 全くうけられていない

⇒問題点・利用しにくい点（具体的に）：

IV-7-2. 介護について必要なサービスをうけていますか（○印は一つ）

1. 介護のサービスをもともと必要としていない
2. 十分にうけられている
3. ある程度はうけられている
4. ごく一部しかうけられていない
5. 全くうけられていない

⇒問題点・利用しにくい点（具体的に）：

IV-7-3. 介護以外の福祉について、必要なサービスをうけていますか（○印は一つ）

1. 福祉のサービスをもともと必要としていない
2. 十分にうけられている
3. ある程度はうけられている
4. ごく一部しかうけられていない
5. 全くうけられていない

⇒問題点・利用しにくい点（具体的に）：

IV-7-4. 介護・福祉以外の市の行政について必要なサービスをうけていますか。

(○印は一つ)

1. 十分に行政のサービスをうけられている
2. ある程度は行政のサービスをうけられている
3. ごく一部しか行政のサービスをうけられていない
4. 全く行政のサービスをうけられていない

⇒問題点・利用しにくい点(具体的に:

IV-7-5. 国の行政について必要なサービスをうけていますか(○印は一つ)

1. 十分に行政のサービスをうけられている
2. ある程度は行政のサービスをうけられている
3. ごく一部しか行政のサービスをうけられていない
4. 全く行政のサービスをうけられていない

⇒問題点・利用しにくい点(具体的に:

IV-8. この第IV部(環境因子)でうかがった内容に類すること(物的・人的・社会的な環境)で、他にも何か不自由や問題とお感じのことがあればご記載下さい。

IV-9. 13ページから上記の質問(IV-1~IV-8)まででうかがった内容全体についてあなたの感じ方をうかがいます(○印は一つ)

1. 非常に満足
2. 満足
3. どちらでもない
4. 不満足
5. 非常に不満足

IV-10. 13ページから上記の質問まででうかがった内容について、知らないこと、もっと知りたいとお考えのものがあれば、あてはまるもの全てに○印をつけて下さい。

1. 障害を補うための支援的な用具(杖, 装具, 義足, 車椅子, シルバーカー, 補聴器, 音声出力コンピューターなど)
2. 住宅環境(改造を含む)
3. 社会的な支援(介護, ホームヘルプサービスなど)
4. 医療の制度・サービス
5. 介護の制度・サービス
6. 介護以外の福祉の制度・サービス
7. 介護, 福祉以外の市の行政の制度・サービス
8. 国の行政の制度・サービス

⇒必要な知識を得るためにはどのようなサービスがあったらよいと思われませんか。

1. 電話相談
2. インターネット(ホームページ)での情報提供
3. 相談窓口
4. その他(具体的に:

第V部 第三者への影響について

ご自分が健康や生活活動や社会参加の上で、困難や具合の悪い点をもっておられることが、ご家族や周囲の方にどんな影響を与えていると考えておられるかについてお聞きします。

そのような、困難や具合の悪い点がない方はお答えいただくなくて結構です。

また、これは市として、病気や障害をおもちの方ご本人だけでなく、その家族・友人・仲間その他の方にもおよぶような問題点があれば、できればそれにも適切に対応したいためです。それ以外の目的はありません。

※以下の項目について9月1日での状況についてお書き下さい。

V-1. ご家族への影響（同居、非同居にかかわらず、各項目につき○印を一つのみおつけ下さい）

V-1-1. 配偶者への影響はどうでしょうか

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 配偶者がいない | 2. 非常に良い影響を与えている |
| 3. 良い影響を与えている | 4. どちらともいえない |
| 5. 悪い影響を与えている | 6. 非常に悪い影響を与えている |

V-1-2. 両親への影響はどうでしょうか

（両親の間でくい違う時は二つ以上○印をして説明をして下さい）

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 親がいない | 2. 非常に良い影響を与えている |
| 3. 良い影響を与えている | 4. どちらともいえない |
| 5. 悪い影響を与えている | 6. 非常に悪い影響を与えている |

V-1-3. 子どもさんへの影響はどうでしょうか

（子どもさんの間でくい違う時は二つ以上○印をして説明をして下さい）

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 子供がいない | 2. 非常に良い影響を与えている |
| 3. 良い影響を与えている | 4. どちらともいえない |
| 5. 悪い影響を与えている | 6. 非常に悪い影響を与えている |

V-2. 友人・仲間への影響

V-2-1. 友人への影響はどうでしょうか

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 友人がいない | 2. 非常に良い影響を与えている |
| 3. 良い影響を与えている | 4. どちらともいえない |
| 5. 悪い影響を与えている | 6. 非常に悪い影響を与えている |

V-2-2. 仕事上の仲間への影響はどうでしょうか

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 仕事上の仲間がいない | 2. 非常に良い影響を与えている |
| 3. 良い影響を与えている | 4. どちらともいえない |
| 5. 悪い影響を与えている | 6. 非常に悪い影響を与えている |

V-3. その他の方への影響があればご記入下さい（どのような関係の方へどのような影響なのか）

V-4. あなたの病気や生活上の不自由をもっておられることが、ご家族や周囲の方へ与える影響全体についてあなたの感じ方をうかがいます（○印は一つ）

- | | | | | |
|----------|-------|------------|--------|-----------|
| 1. 非常に満足 | 2. 満足 | 3. どちらでもない | 4. 不満足 | 5. 非常に不満足 |
|----------|-------|------------|--------|-----------|

第VI部 主観的状态について（ご本人がお答えいただいている場合のみお答えください）
最後の質問です。これまでお聞きしたことを振り返りながらあなたの気持ちのもち方について以下の質問にお答えください。（9月1日での状況についてお書きください）

なお、以下の表現のうちには、不愉快にお感じになるものがあるかもしれませんが、これは市としてできるだけ正確に市民の皆様の気持ちを知り、それを尊重しながら対応を進めていきたいと考えてのことです。ご理解いただけますようお願いいたします。

（それぞれの質問について1つだけ○印をつけて下さい）

VI-1. あなたの自尊心についてどうお思いですか

1. 自尊心が非常に満たされている
2. 自尊心が満たされている
3. どうともいえない
4. 自尊心が傷ついている
5. 自尊心が非常に傷ついている

VI-2. あなたの自分自身についての自信について

1. 非常に強い自信をもっている
2. 強い自信をもっている
3. 自信は普通である
4. あまり自信がない
5. 非常に自信がない

VI-3. 幸福感について

1. 非常に幸福である
2. 幸福である
3. どちらともいえない
4. 不幸である
5. 非常に不幸である

VI-4. あなたの周囲の人についての信頼感について

1. 周囲の人を非常に信頼している
2. 信頼している
3. 何ともいえない
4. あまり信頼していない
5. ほとんど信頼していない

VI-5. 周囲の人からの受け入れについて

1. 仲間として非常によく受け入れられていると感じる
2. 仲間として受け入れられていると感じる
3. どちらともいえない
4. 仲間として受け入れられていないと感じる
5. 仲間としてほとんど受け入れられていないと感じる

- VI-6. 自分が意味ある存在かどうかについてどうお思いですか
1. あなたが家族・友人などにとって非常に大きな意味をもつ存在である
 2. あなたが家族・友人などにとって大きな意味をもつ存在である
 3. あなたが家族・友人などにとってどれほどの意味をもっているかはわからない
 4. あなたが家族・友人などにとってあまり意味をもたない存在である
 5. あなたが家族・友人などにとってほとんど意味をもたない存在である
- VI-7. 自分が今のような病気や障害のある状態にある責任は誰にあるとお思いですか
1. 責任は誰にもない
 2. 責任は自分自身にある
 3. 責任は他の人（加害者など）にある
- VI-8. 自分の自立心についてどうお思いですか
1. 自立心が非常に強いと思う
 2. 自立心が強いと思う
 3. 何ともいえない
 4. 依存心が強いと思う
 5. 非常に依存心が強いと思う
- VI-9. 簡単に治らない病気や障害をもったことをどう考えていますか
1. そのような病気や障害をもっていない
 2. 精神的に克服できるなどして、かえって自分にとって、よいことだったのかもしれないと考えている
 3. 自分にとってそれほどマイナスであったとは思わない
 4. 時々病気や障害がなかったらよかったと思う
 5. いつもこの病気や障害がなかったらよかったのと思う
- VI-10. 自分の人生全体（過去を含め）についての満足度はいかがですか
1. 非常に満足している
 2. 満足している
 3. どうともいえない
 4. 不満である
 5. 非常に不満である
- VI-11. この第VI部（主観的状态）でうかがった内容に類すること（心や気持ちの持ち方に関すること）で、他にも何か問題があればご記載下さい。

御協力ありがとうございました。

20030264

以降は、雑誌/図書等に掲載された論文となりますので、
下記の「研究成果の刊行に関する一覧表」をご参照ください。

「研究成果の刊行に関する一覧表」

ICF の基本的な考え方 生活機能(プラス面)の重視と階層論的理解を中心
に (講座)理学療法にいかす ICF・1

上田敏

理学療法ジャーナル. 36 巻 4 号 Page271-276(2002.04)

ICF の基本的な考え方をリハビリテーションの実際
にいかすか(1) リハビリテーション(総合)実施計画書に
体现された ICF の理念 (講座)理学療法にいかす ICF・2

大川弥生

理学療法ジャーナル. 36 巻 5 号 Page361-366(2002.05)

ICF の基本的な考え方をリハビリテーションの
実際にかにいかすか(2) リハビリテーション(総合)実施
計画書に体现された ICF の理念(2) (講座)理学療法に
いかす ICF・3

大川弥生

理学療法ジャーナル. 36 巻 6 号 Page441-447(2002.06)

評価にかす ICF 「プラスの診断学」とは何か (講座)理学療法に
いかす ICF・4

上田敏

理学療法ジャーナル. 36 巻 7 号 Page507-511(2002.07)

理学療法プログラムにかす ICF(1) 目標指向的アプローチ (講座)理
学療法にかす ICF・5

大川弥生

理学療法ジャーナル. 36 巻 8 号 Page609-615(2002.08)

理学療法プログラムに生かす ICF(2) リハビリテーション・プロセスへの
患者・家族の主体的関与・決定 (講座)理学療法に生かす ICF・6

大川弥生

理学療法ジャーナル. 36 巻 9 号 Page696-703(2002.09)

評価からプログラム設定まで(1) (入門講座)生活機能と障害の総合評価
のコツ 1

上田敏

作業療法ジャーナル. 36 巻 8 号 Page1016-1021(2002.08)

評価からプログラム設定まで(2) (入門講座)生活機能と障害の総合評価
のコツ 2

上田敏

作業療法ジャーナル. 36 巻 9 号 Page1098-1104(2002.09)

チームワークと患者への説明と主体的参加促進に立った評価 リハビリ
テーション(総合)実施計画書の活用を例にとって (入門講座)生活機能と
障害の総合評価のコツ 3

大川弥生

作業療法ジャーナル. 36 巻 10 号 Page1193-1200(2002.10)

チームワークとしての総合評価 活動を中心に (入門講座)生活機能と
障害の総合評価のコツ 4

大川弥生

作業療法ジャーナル. 36 巻 11 号 Page1297-1306(2002.11)

患者・障害者の自己決定権を尊重する評価とは? 評価への本人・家族
の主体的参加を中心に (入門講座)生活機能と障害の総合評価のコツ
5

大川弥生

作業療法ジャーナル. 36 巻 12 号 Page1393-1400(2002.12)